



平成24年度用「中学校社会科地図」では、新学習指導要領の「世界の諸地域」の学習に対応して、州ごとに資料図を掲載しています。その中でもとくに学習上重要度が高い中国、ヨーロッパ、アメリカ合衆国の3地域では、見開きの大きな鳥瞰図を掲載しました。小学校から中学校に進んで初めて世界のようすを学習する生徒に、鳥瞰図からいきいきとしたイメージを膨らませて、楽しく学習に取り組んでほしい、生徒自身が各州に対して多面的な興味を育ててほしいというねらいで作成しています。

「アメリカ合衆国のようす」(p.59~60)を例にとると、ここでは大きく三つのポイントで地域をとらえることができます。一つめは、アメリカ合衆国の広大な自然環境です。ベースに描き込まれた地形や植生の特徴から、西～東で変化していくようすを理解できます。またイラスタから、ガラガラヘビやサボテン、マナティーなど豊かな動植物が生息し、油田や鉄山などから資源にも恵ま

れていることがわかります。

二つめは、この国を形成する多様な民族や文化です。バスケットボールや野球のイラスタから各種プロスポーツがさかんであることがわかります。また、各地の特徴的な建造物を取り入れた都市のイラスタから、個性的な景観を持つ都市が点在しているようすを読みとることができます。

三つめは、産業のようすです。穀物倉庫や飛行機による農業散布のイラスタから大規模農業のようすを、小麦やとうもろこし・綿花のイラスタから、生産量の多い作物やおもな栽培地域がわかります。シリコンバレーのイラスタは、IT産業が集積する地域のようすを、自動車や製鉄所などの工場のイラスタは五大湖周辺の工業地域のようすを示しています。

この鳥瞰図と、p.55~56の地図や他の資料図を組み合わせて活用することで、さらにアメリカ合衆国への理解を深めてほしいと思います。(帝国書院編集部)